

ペストの症状

肺ペストは細菌感染から
通常1-6日後に以下のよ
うな症状が現れます：

発熱

頭痛

倦怠感

急速に悪化する肺炎

息切れ

胸痛

咳

(症例によっては)
血痰あるいは水っぽい痰

早期治療を怠ると、
呼吸不全を引き起こす
恐れもあります。

腺ペストの症状は
細菌感染から通常2-6日後に、
リンパ腺の腫れと痛み、
発熱、悪寒、急激なショック
などの形で現れます。
早期治療をしないと
死にいたる病気です。

詳しい情報は

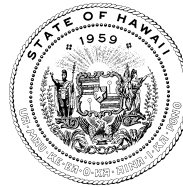
Aloha United Way



www.hawaii.gov/doh

または

www.cdc.gov



ハワイ州知事 リンダ・リングル
ディレクター・オブ・ヘルス チヨミ・L・フキノ医師



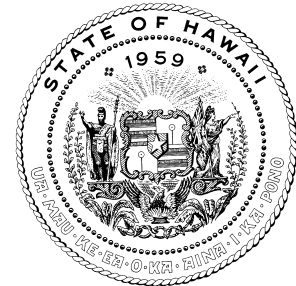
ハワイ州保健局は人種、肌の色、国籍（言語を含む）、年齢、性別、信仰、および障害の有無にかかわらず、そのプログラムと活動を利用する権利をすべての人に提供します。

問題が起きた場合は、180日以内に書面もしくは電話にて差別撤廃措置担当者までご連絡ください。

Box 3378, Honolulu, HI 96801-3378 または
(808)586-4616（音声メールボックス）

ペスト

(Plague)



ハワイ州保健局
www.hawaii.gov/doh
お問い合わせやご相談は
2-1-1までお電話ください。

ペストとは？



ペストとはペスト菌という細菌により引き起こされる致死的な感染症です。ペスト菌はネズミとネズミノミを感染媒体とし、世界中の多くの地域で発生しています。

す。ペストは3種類に分類されます：

- 肺ペストはペスト菌を吸い込んで発症します。
- 腺ペストはペスト菌に感染したノミによる刺咬後に発症します。最も多く見られる種類です。
- 敗血症ペストはペスト菌が血液中で増殖した場合に発症します。肺ペストや腺ペストの合併症として、もしくは直接発病します。

感染経路は？

肺ペストはペスト菌が肺を侵すことによって起こります。感染の可能性としては：

- 生物テロ攻撃としてペスト菌が空中に噴霧された場合。
- 肺ペスト患者（または動物）の呼吸器からの飛沫を吸い込んだ場合。呼吸器の飛沫は咳やくしゃみによって最も容易に広まります。この経路による感染は、患者または感染動物と直接または至近距離（約2メートル以内）で接触した時に起こります。
- 腺ペストや敗血症ペストが治療されず、感染が肺まで拡大した場合。



腺ペストは人間や動物が感染しているノミに咬まれて発生します。腺ペストが人間から人間へ感染することはありません。

症状は？

肺ペストは細菌感染から通常1-6日後に以下のような症状が現れます：

- 発熱
- 頭痛
- 倦怠感
- 急速に悪化する肺炎
- 息切れ
- 胸痛
- 咳
- 血痰あるいは水っぽい痰（症例による）



早期治療を怠ると、呼吸不全を引き起こす恐れもあります。

腺ペストの症状は細菌感染から通常2-6日後に、リンパ腺の腫れと痛み、発熱、悪寒、急激なショック症状として現れます。早期治療をしないと死にいたる病気です。

治療方法は？



医師が抗生物質を投与します。早期に治療することが最も効果的です。患者と直接または至近距離での接触があった場合は、7日間の抗生物質投与が予防効果を持ちます。密封性のある手術用マスクの着用も感染予防に効果的です。現在ペスト菌の予防ワクチンはありません。

感染後の対処方法は？

即座に治療を受けてください。肺ペスト感染の可能性のある人は、発病を防ぐために一刻も早く抗生物質の投与を受けてください。発病した場合は、致死率を軽減させるために、最初の症状発生から24時間以内に抗生物質の投与が必要です。

発生場所は？

ペストは世界中で自然発生している病気です。アメリカ合衆国西部では毎年平均5-15件の発生例が報告されています。これらの感染は通常農村や半農村地域で散発的に見られ、大半は腺ペストとして発病しました。肺ペストの自然発生は非常にまれですが、小規模で発生することがあります。

なぜ肺ペストが生物兵器として警戒されているのですか？

ペスト菌は自然発生し、実験室で大量に分離増殖することができます。また、細菌はエアゾール化し、人が多い場所で誰にも気づかれずに空中に噴霧することが可能です。感染者は症状がすぐに現れないために、自分が感染力を持ち、他人に細菌を移す可能性があると感じる前に広範囲にわたる地域に移動してしまう恐れがあります。そのような状況でペストを制圧するのはより困難になるでしょう。

ペットや他の動物が感染する可能性は？

はい、あります。ペットや野生のネズミはペスト菌に感染する恐れがあります。ご自分のペットや動物が感染したと思われる場合は、動物との接触を制限し、獣医までご連絡ください。

